4. 注意事項

火気厳禁		業務用
引火性		有害性
	1. 引火性の液体である。 2. 有機溶剤中毒の恐れがある。 3. 健康に有害な物質を含有している。 4. 皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。	

吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

- 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- 施工中、養生中ともに換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、保護めがね、保護手袋等を着用するとともに、必要に応じて、有機ガス用防毒マスク又は送気マスクを使用して下さい。
- 容器からの出し入れ、混合作業、空容器の押しつぶし等の作業は、ビニールシート等を敷いた上で行い、もし内容物がこぼれた場合には、ウエス等で拭き取って下さい。
- 材料の付着した手袋、ウエス、使用済みの洗い溶剤等は、フタ付の金属容器等に保管し、廃棄は廃棄物処理業者に委託してして下さい。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
- 作業衣等に付着した場合には、その汚れをよく落として下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには、すみやかに医師の診察を受けて下さい。
- 目に入った場合には、多量の流水で洗い、すみやかに医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、すみやかに医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、すみやかに医師の診察を受けて下さい。
- 火災時には炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。
- 保存中は必ず容器を密閉し、換気が良く直射日光のあたらない40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵して下さい。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 容器は中身を使い切ってから、廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- 本来の用途以外（シンナー遊び等）に使用しないで下さい。
- 指定された材料以外のものと混合しないで下さい。

詳細な内容が必要な場合には、安全データシート（SDS）をご参照下さい。

	主　剤	硬化剤
成　分	トリレンジイソシアネート	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン
消防法	第4類 引火性液体第4石油類 危険等級Ⅲ	指定可燃物可燃性液体類

本資料の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。環境により変化する場合があります。

製造元 AGC AGCポリマー建材株式会社
本社　〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町1-3-8(沢の鶴ビル)

ダイキ工業株式会社
北九州市小倉北区赤坂5丁目6番64号
TEL(093)541-6081　FAX(093)541-6516

DAIKI KOGYO ENGINEERING SYSTEM
TECHNICAL REPORT

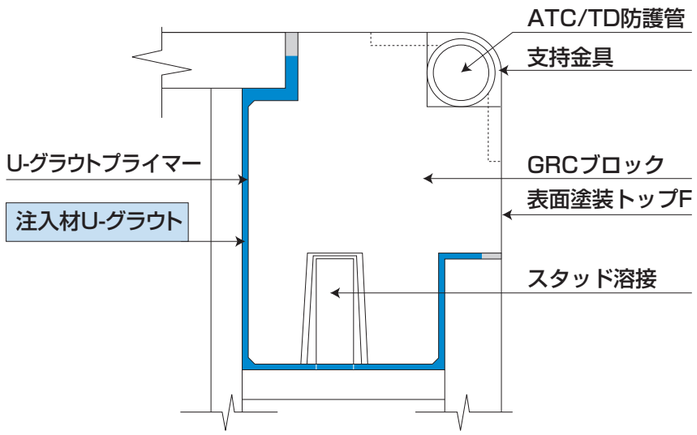
KTMモノレール工法専用ウレタン系グラウト材

U-グラウト

U-グラウトは、鋼軌道桁とGRCブロックの空隙充塡、接着に応用されたポリウレタン系グラウト材であり、緩衝性、接着性、防蝕性、グラウト性に優れてます。

KTMモノレール工法とは

KTMモノレール工法は、GRCのもつ優れた性能を生かした工法で、鋼軌道桁のたわみに追随し、ATC/TDループ防護管を固定する工法です。



U-グラウト性状

品名 / 項目	U-グラウト	
	主　剤	硬 化 剤
主　成　分	ウレタン プレポリマー	ポリエーテル ポリオール
外　観	淡黄色液体	灰色液体
配　合　比(重量)	1	2
固　形　分	99%	97%
初期粘度(25℃cps)	混合物　8000 ± 4000	
比　重(25℃)	混合物　1.3 ± 0.1	

※ポリウレタン系塗装面

U-グラウトプライマー

1. 主成分

主　成　分	ウレタン樹脂系
溶　剤	キシレン(50～60%)

2. 一般性状

試験項目	試験方法	試験条件	単　位	規格値
外　観	目　視	―	―	淡黄色透明液体
粘　度	JIS K 5600準拠	20℃	mpa·s {c p}	30 ± 20
固　形　分	JIS K 5600準拠	―	%	40 ± 5
比　重	JIS K 5600準拠	20℃	―	0.98 ± 0.10

※U-グラウトプライマー塗付

DAIKI KOGYO ENGINEERING SYSTEM
TECHNICAL REPORT

U-グラウト(モノレール用ウレタン系グラウト材)

1. 特　長

- U-グラウトは、鋼軌道桁とGRCブロックの空隙充塡、接着に応用されたポリウレタン系グラウト材であり、緩衝性、接着性、防蝕性、グラウト性に優れます。
- 施工現場で塗布硬化させることができるため、下地になじみやすく、プライマーを使用することでコンクリート、金属などの下地に強固に接着します。

2. 各種試験によるシート物性

項目		U-グラウト
初期物性		
硬度	タイプA	45
引張強さ	N/mm²	3.6
100%MO	N/mm²	1.3
300%MO	N/mm²	1.8
500%MO	N/mm²	2.7
引裂強さ	N/mm	16
伸び率	%	690
60℃ 温水 14日		
引張強さ	N/mm²	3.6
伸び率	%	740
80℃ 耐熱 14日		
引張強さ	N/mm²	4.1
伸び率	%	750

試験片養生条件　23℃、50%RH　7日養生、初期物性と各種試験実施
測定条件　各種試験終了後、23℃、50%RH　1日放置後、測定
クロスヘッドスピード　500mm/分　3号ダンベル　B型ダンベル

3. 接着性

180度はく離(JIS K 6854-2準拠)による試験結果

下地	プライマー	試験時温度(℃)	接着強さ(N/25mm)	試験後の状態	評価結果
モルタル	モルタル・コンクリート用	23	65	U-グラウト破断	良好
鋼板	金属下地用	23	64	U-グラウト破断	良好

※評価結果は弊社による基準です。